



令和元年度 第1回 堀船地区地域円卓会議 会議録



- 日時：令和元年8月8日（木） 午後7時～午後8時45分
- 場所：堀船ふれあい館ホール

1. 開会のあいさつ

堀船町会自治会連合会会長及び地域のきずなづくり担当副参事よりあいさつがあった。

2. 地域円卓会議とは

事務局から、円卓会議設立の背景、具体的な目的や内容について説明した。また、進行にあたっての約束を説明した。

3. 参加者自己紹介

各団体の出席者が「24時間以内にあったよかったこと」を交え、自己紹介を行った。

4. 各団体の活動内容の紹介

出席団体ごとに、3分程度で活動内容の紹介を行った。

5. 意見交換

円卓会議の今後のテーマや、他団体への協力依頼等について、意見交換を行った。

(主な意見)

- ・地区内に交番がない。なくなった経緯などを知りたいし、あったほうがよい。
- ・地域防災力の向上について、地域の防災備蓄の情報がなく、関心も持てない。
- ・年1回は各町会自治会で防災訓練を実施したほうがよい。また、地域全体での防災訓練を実施してはどうか。

- 地域のイベントに中学生の参加を増やすよう、学校に積極的に働きかけている。少子化により異年齢交流の機会が減っているので重要だ。
- 町会の担い手についてPTAは重要である。そこを入りに、地域活動へ入ってきてもらいたい。
- 荒川の氾濫について、これから対策を立てるとのこと。集合住宅などへの垂直避難について、区と協定を結んでいる例がある。積極的に進めてほしい。
- 孤独死について、平成22年に自治会内で4件あった。
- 地域のスポーツクラブや文化活動団体との交流を進めたい。
- ワンルームマンションのピンカンのステーション回収について、設置場所など課題がある。
- 子どもと高齢者の接点を増やしたい。
- 災害時の対応や、外国の方の対応など。
- 子どもたちに地域活動をしている大人の姿を見せるのは大事と思う。子どもがあんな大人になりたい、と思わせるような活動は素晴らしい。
- 買い物難民について。地区内に買い物をするところが少ない。
- 大規模災害時、避難所の開設や帰宅難民の対応等がわからない。
- 子ども110番プレートについて、子どもがわかっていない。子どもにも、貼っていただいている店舗にも理解してもらえよう連携していきたい。

事務局から、連合会長と相談し今度のテーマを変更すること、第2回会議を令和元年度後半に行うことを報告した。

6. 閉会あいさつ

赤十字奉仕団堀船分団委員長よりあいさつがあった。

